



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM

若宮大通と伏見通が交差する名古屋市中心部の公園の一角に静かに佇むミュージアム。「名古屋市科学館」は、ギネス記録に認定された世界最大のプラネタリウムドームが有名で天文分野に強い印象がありますが、水のミュージアムの一面も持っています。

昭和39年の開館以来、順次拡張・整備されてきた施設は、平成23年に大規模に改築・リニューアルされました。これにより、巨大なプラネタリウムと迫力ある4つの大型展示が新たに誕生し、一層魅力が高まりました。年間来場者数は130万人を超え、多くの人々から愛されています。

ダイナミックな大型展示

迫力ある4つの大型展示は、水、竜巻、雷、極地といった自然現象に関わるものがテーマとなっています。大型展示を通じて身近な自然現象をやさしく解説することがねらいなのでしょうか。

「自然現象を表現しようという思いはもちろんあります。でも、来館されたお客さまに楽しんでいただきたいという思いが一番です。」と語るのは、ご案内くださった安達さん。こうした大型展示が生まれたきっかけは、科学館の大規模リニューアルに際し、魅力をより高めるためにダイナミックで大掛かりな展示を導入したいと考えたからだそうです。

大型展示「水のひろば」もその一つです。水車、ポンプ、プリズムの虹など水の特性を利用した仕掛けが、くも、あめ、かわ、うみの4つのステージに散りばめられています。また、1時間置きに映像と水によるショーも行われます。

「くも」が「あめ」を降らせ、「かわ」となり、「うみ」に注ぎ、やがて蒸発して再び「くも」となる、大きな水の循環を表現するのかなと考えていると、「理屈よりも直感的に感じてもらいたいです。何よりも楽しんでもらいたいです。」とのこと。まず心で感じ、楽しむべきであったと展示の趣旨を確認した野暮を恥じました。この日も小さなお子さんから大人まで幅広い年代の方々が、展示に見て、触れ、たくさんの笑顔が咲いていました。



水のひろば

大都会に出現「こだわりの星空」

国内では長い歴史を持つプラネタリウムは、改築後にドームとともに機材が一新され、よりリアルな星空を再現できるようになりました。

始まりは夕暮れ時です。陽が沈み辺りが暗くなるにつれ、スカイラインが夜空に消えていきます。いつしか、きらきらと満天の星たちが輝き、天体や星座に関する生解説、星座に因んだおとぎ話のアニメー



竜巻ラボ



内部構造がわかるエスカレーター



放電ラボ

ションなどが展開し、やがて夜明けを迎えるという流れになっています。技術的にはもっと暗く光る星を見せることも可能ですが、あえて6.5等星までの星空を再現しているそうです。

「この地球上で、肉眼により見える限度の星しかお見せしていません。それが私たちの考えるリアルな星空です。」

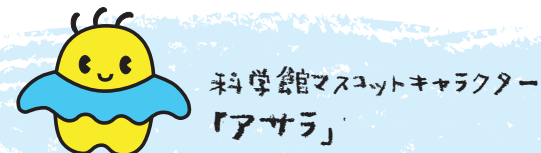
徹底した自前主義もこだわりの一つです。すべてのプログラムは、企画、制作、準備、上映、生解説、バックアップなどの一切を名古屋市教育委員会の職員が取り仕切ります。不具合があっても専門業者に頼ることなく柔軟な対応をすることができるほか、観客の反応を見ながら解説をアレンジできるという良さがあるそうです。良いプログラムで観客に楽しんでもらいたいというプロフェッショナルリティを垣間見ました。



最新設備のプラネタリウム

むすびに

ここでは紹介しきれませんが、生命科学、機械科学、土木工学、数学などを楽しく学べる数多くの展



チャーミングなコインロッカー

形状にインスパイアされたのでしょうか、コインロッカーの扉には元素記号が記され、さながら「元素の周期表」です。筆者は日本生まれの元素「ニホニウム(Nh)」に荷物を預けました。

示とそれらをもっと楽しいものにしようと支える職員、ボランティアなどの皆さんの熱意と活気に溢れています。安達さんは最後にこう締めくくります。

「催しや展示など、科学館は毎日表情を変えるので、一年中楽しんでいただけたと思います。私たちも皆さんに楽しいと感じていただけるようこれからも磨きをかけていきます。」

名古屋市民をはじめ多くの人々に愛され、職員らの創意工夫で発展を続ける国内屈指のミュージアム「名古屋市科学館」を訪れてみてはいかがでしょうか。



所在地 名古屋市中区栄二丁目17番1号
開館時間 9:30 ~ 17:00 (入館 16:30 まで)
休館日 月曜(祝日の場合直後の平日)、第3金曜(祝日の場合第4金曜)、年末年始
アクセス 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」4・5番出口、市バス「広小路伏見」、名鉄バス「白川公園前」からそれぞれ徒歩5分

